

## 平成 21 年度事業・活動報告

21 年度の事業・活動計画は予定通り実行、達成できた。その結果、玉縄桜の知名度が急速に高まり、内部の活動体制が充実した年となった。

### 1) 苗木の生産、育苗

里親に 150 本の鉢苗木を預託し、植樹可能な 150 本を生育した。700 本を挿木し、120 本が生苗。他に接木法を習得し 100 本の接木に成功し台木苗として育苗中。

### 2) 植樹

植樹先は玉縄地区、鎌倉市のみならず、秦野市、横浜市、大府市(愛知県)にも広がり、今春は 30 箇所、80 本を植樹、秋には 70 本を予定。

### 3) 保守管理

植樹した苗木の保守管理のためのパトロールなどを実施。

### 4) 苗木基地の拡張・整備

苗木生苗、保管の為の基地の拡張・整備をし、玉縄桜の生苗から植樹までの一貫体制が整ってきた。

### 5) 財政・資金の確保

活動の拡大に伴い資金の確保(環境ファンド、協力支援賛助金、寄付金、サポーター、会員増大)に努め、充実したものになった。

### 6) 桜の団体や各種組織・団体との交流

鎌倉桜の会、近隣の小中学校、自治会・町内会、市役所、行政センターなど各方面との交流、協力があった。

- ・ 教養センター文化祭で「玉縄桜を語る」の講演
- ・ 学習センターで「鎌倉の桜今昔」題の講演をサポート

### 7) 市、県、自町連など団体への協力、支援の働きかけ

玉縄桜を広め、地域のシンボル、観光産業などのコアとするよう普及活用を要請し始めた。

### 8) 広報、PR 活動

- ・ 独自のホームページ「玉縄桜をひろめる会」を立ち上げ広報的メディアが充実した。
- ・ 期間広報誌「玉縄桜」を 6 月、2 月に発行、配布した。
- ・ TV(鎌倉ケーブルテレビ、NHK) 新聞(神奈川、毎日、鎌倉朝日、玉縄新聞) タウン紙(タウンニュース、湘南リビングほか)に掲載され知名度が一層高まった。
- ・ 第 4 回「玉縄桜を愛でる」散策会を 2 月 26 日に実施、100 名程が参加 1 月 26 日に開花した早咲き桜を堪能した。

### 9) フェスティバル、イベント等に参加

NPO フェスティバル、ロジュマン祭り、地域活動へ参加、協力があった。

### 10) 会の内部活動、体制整備

- ・ 新会員が 20 名増え、会員数が 120 名を超えた
- ・ 苗木の里親交流会を 2 回実施
- ・ 役員会毎月 1 回開催
- ・ 会員名簿・苗木台帳整備

など会組織の活動が活発になった。